角田川帖

墨東資料

類第	
通番	
名題	
作者	
寄贈購入	年 月 日
摘要	
冊數	

檉堂家藏

863
222

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』　請求記号 863-222

ガラス使用

863
222

國立圖書館

據山田子然善國字札更陳藤
田君者翁學於大橋氏以名孫
也弱者子然游息於斯藝百枯
勇來靈於是乎里巾吹多士乘
來出海帆悉出性日不元言此卷
善自得出以換其徒々々不知得

國立圖書館
24. 3. 29 和
寄贈

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』　請求記号 863-222

ガラス使用

[illegible]

丁及 [illegible]

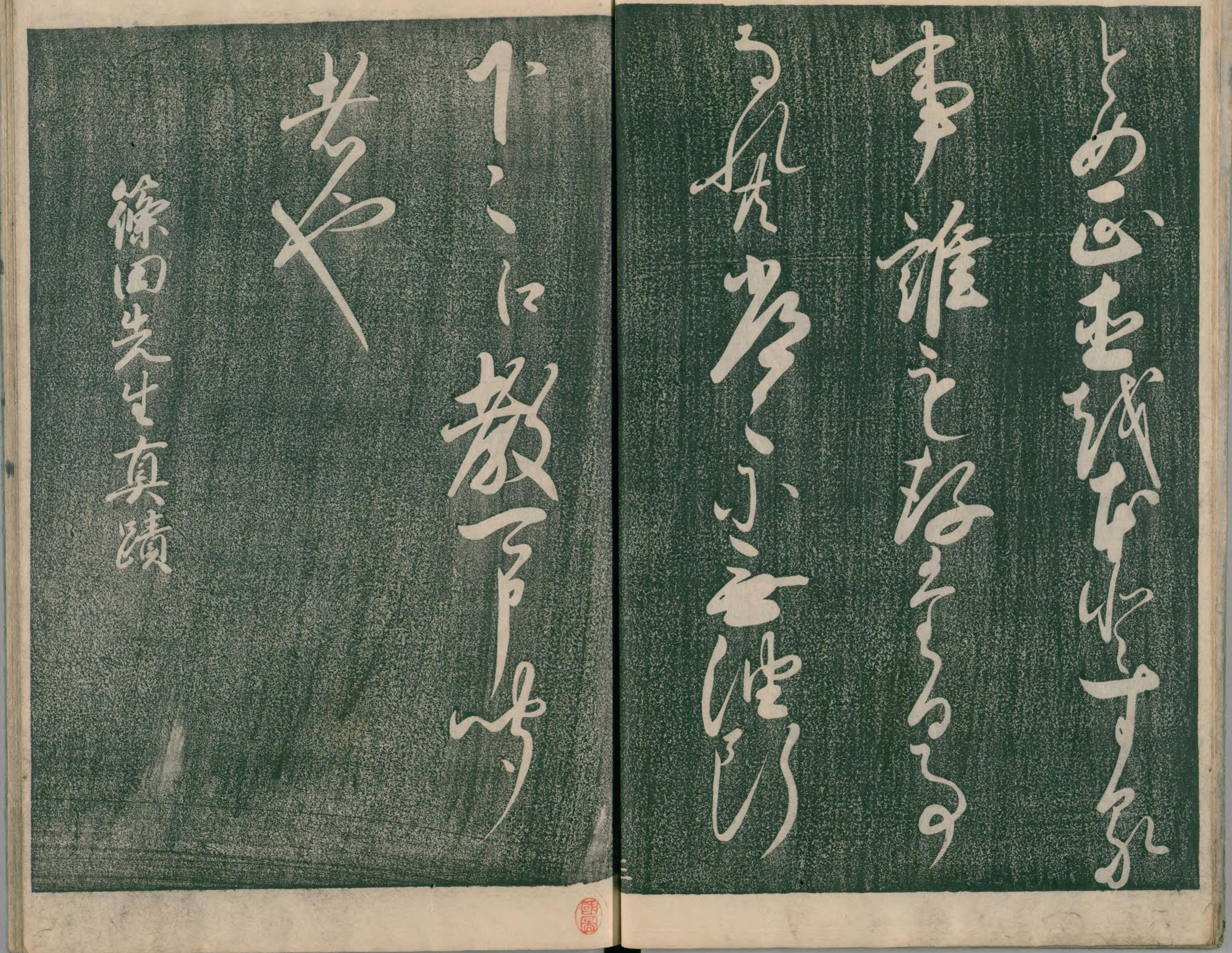
[illegible]

十二月十日

大橋先生真蹟

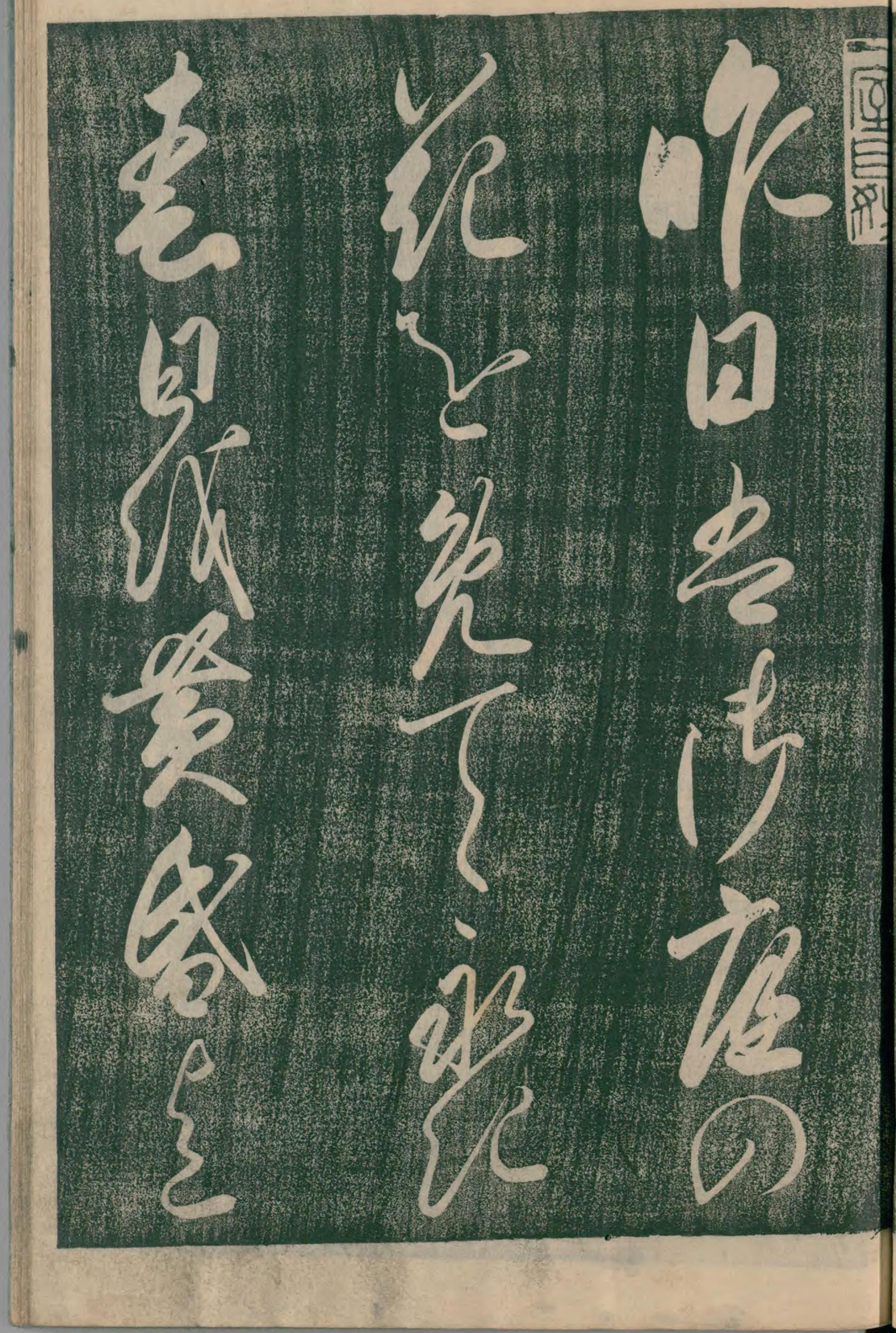
父母に孝行に法度
となり謙つゝ不奢し
て面に此家職とし

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222

ガラス使用



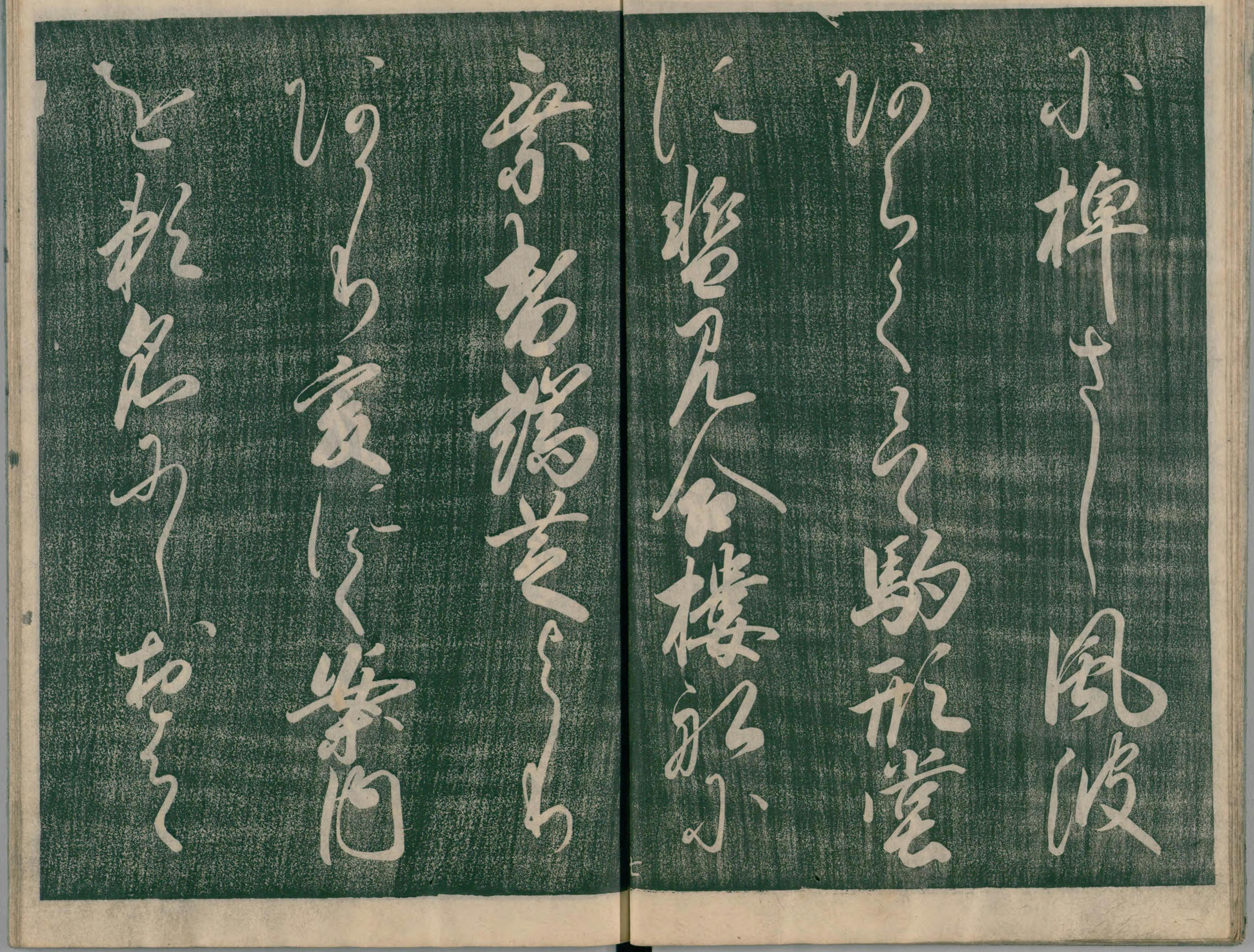
国立国会図書館　タイトル『角田川帖』　請求記号 863-222

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『角田川帖』　請求記号 863-222

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222

ガラス使用

秋葉月漫々

多城芒漾茅原

桃杠風城河無之也

欲さん波妙龜尼

鶴巻閑休去水

汲のひ

境池

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』　請求記号 863-222

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222

ガラス使用

興は弘之誤也 棟堂

なとしふくらゐ
らんもも牛清茶
興福寺田中純

十二

稲荷ふく雲を
しらん酔興和漢
男女交て芝生の

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222
ガラス使用

董蒲公英摘手
もたゆく足疲らく
時花鶯笑小のち
業平墳風流誰
人の恨を我たる夜
雨乃詩を感吟し

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』　請求記号 863-222

ガラス使用

羅漢寺より永代
島八幡宮永来汀
川打出漂之有

海邊安居之総
辰巳ゟ
筑波山女男姉川

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』　請求記号 863-222

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222

ガラス使用

椿山先生風學書於篠田行休
篇其喜樂恒於斯憂苦亦
恒於斯竟入于室矣然後從游
之士日月麕集而其名延及信
越今也先生臨此卷授循等

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222
ガラス使用

因請將梓之先生不敢許
之循曰篠田翁曩有改年帖
今川帖并行于世而未視此帖
為憾焉幸得先生書翁既
歿十七年九原之下若有知

則必謂我筆暢于今矣且非
公諸大方以授因社幼蒙耳豈
不亦可乎於是先生諾焉
安永八年夏六月
上毛　田循謹識

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』　請求記号 863-222
ガラス使用

青李館藏版

古南館藏書

余曩遊子上毛與田子
然交既知其善書札
單志研精至成筆
冢墨池蓋非志業之
固焉能至於斯乎今

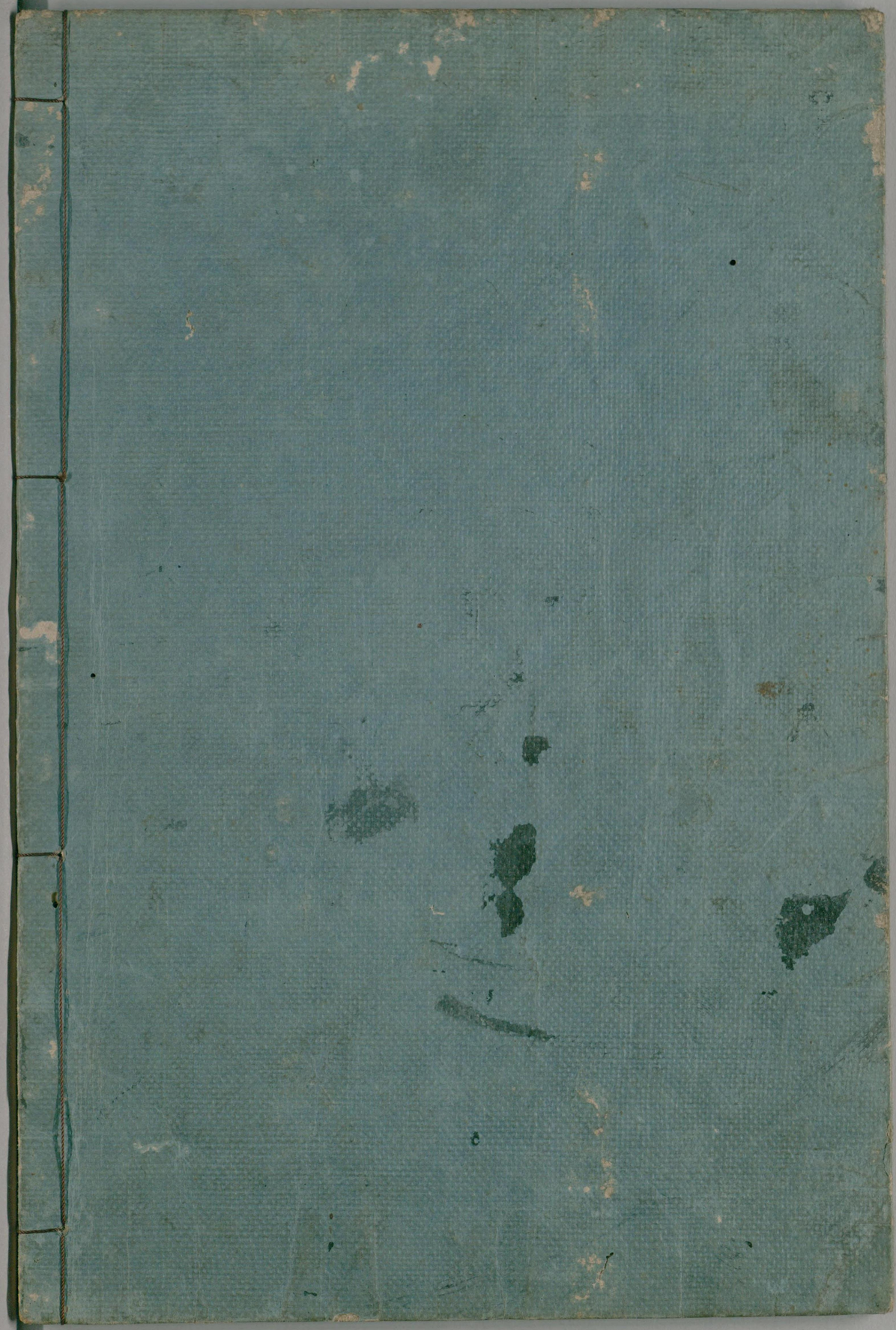
国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222
ガラス使用

863
222

19809

觀此刻可謂合作者已
回書甚後返之
安永己亥九月
汶嶺芝央書

国立国会図書館　タイトル『角田川帖』 請求記号 863-222
ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『角田川帖』　請求記号 863-222

ガラス使用